

平成 24 年度 前期 大学院

授業科目 統計的方法論特殊研究(非集計データ分析) 2 単位 担当教員 三古展弘

1. 授業のテーマと到達目標

(1) テーマ

- ・ 集計モデルと非集計モデルを理解し、簡単な非集計モデルを推定および解釈できるようにする。

(2) 到達目標

- ・ 集計モデルと非集計モデルの理解ができる。
- ・ 簡単な非集計モデルの推定と解釈ができる。

Students will be able to:

- Understand aggregate and disaggregate models.
- Estimate simple disaggregate models and interpret estimated results.

2. 授業の概要と計画

1. 分析のための予備知識(交通と交通調査), 課題 1
2. 2 項選択モデル
3. 多項選択モデル
4. 特定化
5. 推定と適合度
6. 集計化と予測, ロジットモデルの IIA 特性
7. 非集計モデルの推定結果の解釈, 課題 2
8. Stated Preference 調査
9. 非集計モデルの適用例, 補償型・非補償型モデル
10. 集計モデル(基本的な考え方と発生・集中)
11. 集計モデル(分布, 分担)
12. 集計モデル(配分)
13. 研究事例紹介
14. 期末試験

3. 成績評価と基準

レポート(60%程度)および期末試験(40%程度)により評価する。

4. 履修上の注意(関連科目情報等を含む)

本講義は、市場経済分析特論、マーケティング特論、数学的方法論、統計的方法論とも関連すると考えられる。指導教員とも相談の上、受講を検討されたい。

5. オフィスアワー・連絡先

講義中の質問を歓迎する。オフィスアワーは設けないが、電子メールによる質問や電子メールでアポイントメントを取った上での質問にも対応する。

6. 学生へのメッセージ

事前知識は特に必要としないが、ミクロ経済学の基礎と確率・統計学の知識があったほうが望ましい。講義には電卓(できれば関数電卓)を持参すること。

7. 今年度の工夫

実際にデータを用いてモデルの推定を行う。

8. 教科書

特に指定しない。

9. 参考書・参考資料等

- ・北村隆一・森川高行編著（2002）交通行動の分析とモデリング，技報堂出版．
- ・Ben-Akiva, M. and Lerman, S.R. (1985) Discrete Choice Analysis: Theory and Application to Travel Demand, The MIT Press.
- ・土木学会土木計画学研究委員会編（1995）非集計行動モデルの理論と実際，丸善．
- ・交通工学研究会編（1993）やさしい非集計分析，丸善．
- ・竹内伝史・本多義明・青島縮次郎・磯部友彦（2000）[新版]交通工学，鹿島出版会．
- ・樗木武・井上信明（2002）交通計画学〔第2版〕，共立出版．

10. 授業における使用言語

日本語．

Japanese.

11. キーワード

非集計モデル 集計モデル ロジットモデル

12. 参考URL

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~sanko/lecture-j.html>